

衆院選比例代表選挙結果(2014/12/14)

政党名	上越市 得票数	上越市 得票率	上越市 前回得票数	上越市 前回得票率	上越市前回 得票数増減	上越市前回 得票率増減	6区 得票数	6区 得票率	6区得票数 前回比増減	県全体 得票数	県全体 得票率	県全体得票 前回比増減
日本共産党	7,238	8.2%	4,848	4.9%	2,390	3.3	13,712	8.7%	4,465	89,794	9.0%	30,640
民主党	25,725	29.2%	22,855	23.2%	2,870	6.0	42,326	26.7%	2,774	255,327	25.7%	21,023
社会民主党	3,289	3.7%	4,281	4.3%	▼992	▼0.6	5,397	3.4%	▼1,847	36,566	3.7%	▼10,878
生活の党	2,301	2.6%	4,452	4.9%	▼2,151	▼1.9	4,117	2.6%	▼3,572	41,021	4.1%	▼20,420
自由民主党	32,810	37.3%	34,343	34.8%	▼1,533	2.5	62,749	39.6%	▼4,049	355,758	35.7%	▼13,077
維新の党	8,928	10.1%	15,684	15.9%	▼6756	▼5.8	15,568	9.8%	▼11,596	111,609	11.2%	▼83,672
公明党	6,100	6.9%	6,104	6.2%	▼4	0.7	11,583	7.3%	▼346	83,223	8.4%	▼16,707
次世代の党	1,307	1.5%					2,148	1.4%		16,707	1.7%	
幸福実現党	313	0.4%	259	0.4%			806	0.5%	169	5,309	0.5%	853

※表作成にあたり、「生活の党」の前回数値は前回の「日本未来の党」のものを、「維新の党」の前回数値は前回の「日本維新の会」のものを使いました。

衆院選小選挙区新潟6区選挙結果

候補者名	上越市 得票数	上越市 得票率	上越市 前回得票数	上越市 前回得票率	6区 得票数	6区前 回得票数	6区得 票率
高橋みきこ	6,237	7.1%	7,649	7.8%	12,315	13,914	7.8%
うめたに守	39,535	44.8%	38,872	39.8%	62,766	66,564	39.5%
たかとり修一	42,516	48.2%	51,239	52.4%	83,638	98,676	52.7%

※表作成にあたり、うめたに候補の前回票・率欄の数字はつつい信隆氏のものを使いました。



記者会見後、日本共産党上越地区委員長を兼務している上野公悦議員は、「超短期決戦にもかかわらず大きな躍進をすることができたのは支持者、後援会員、赤旗読者、仲間みなさんなどのおかげです。心から感謝申し上げます。今後は国政と結んで3市の市民のみなさんの命と暮らしを守るために全力をあげていきます」と感謝と決意の言葉を述べました。

ことができました。夜10時から行われた記者会見には、高橋みきこ候補とのべました。の意義は大きい」「来春の県議選にも弾みとなる結果だ。いつそうがんばりたい」などのべました。

北陸信越ブロックでの議席回復に歓喜の声

師走の総選挙、投開票が行われた14日の夜、小選挙区新潟第6区の日本共産党の高橋みきこ候補の事務所は笑顔と喜びの声でいっぱいになりました。テレビで比例代表区北陸信越ブロック、日本共産党の藤野やすふみ候補の当確が伝えられた瞬間です。今回の総選挙で日本共産党は改選8議席の2倍を上回る21議席を獲得、参議院に続いて衆議院でも議案提案権を持つことができました。衆院



【ヒヨドリジョウゴ】ナス科の多年生植物。漢字で「鶇上戸」と書きます。花は晩夏に咲くそうですが、まだ見たことはありません。鮮やかな赤い実は白い雪の中でとても映えます。名前にはヒヨドリという鳥の名が入っているものの、ヒヨドリはまず食べないようです。写真はわが家の庭で撮りました。

上越市でも比例代表で貴重な前進

選での日本共産党の躍進は18年ぶりです。比例代表選挙では北陸信越ブロックで11年ぶりに議席を回復しました。これで上越地方の問題を持ち込む太いパイプを持つ再稼働反対の議席を得たこと

No.1688 2014.12.21
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL http://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見てある記」はこちら



春よ来い

第三三六回

ソリ遊び

宣伝カーが春日新田から川原町へと入り、関川沿いの市道を北の方へと進んでいる時でした。左側前方の堤防の向こうで子どもたちが盛んに手を振ってくれています。薄暗くなりかけていた時間帯ではありませんでしたが、その姿はハッキリと確認できました。

この日の夕方、直江津の空は雪雲で覆われ、鉛色でした。でも、堤防の雪は街灯に照らされていて真っ白です。宣伝カーの音を聞き、白くなった堤防の一番高い、平らなところへ飛び出してきたのは、四、五人の子どもたちでした。大きな音に喜んでのことだとは思いますが、私にはそれだけではないように思えました。ニコニコしていて、とても楽しそうなのです。よく見たら、黄色のソリを持っていて、子どもがいました。そうです、子どもたちはソリ遊びの真つ最中だったのです。

宣伝カーは演説をするためにスピードを落とし、公園と思われる場所のそばで止まりました。子どもたちが遊んでいた場所のずっと奥の方には、荒川橋の灯りが点々と見えます。荒川橋と子どもたちの遊んでいる姿の組み合わせがとても素敵でした。私は急いでカメラを向けました。暗くなりかけた頃だったので子どもたちの顔は見えませんでした。元気に手を振ってくれている様子を写真におさめることができました。

演説の順番が終わってから、のぼり旗などの片付けをするちよつとの時間、私は堤防まで上がって見ました。すでに子どもたちの姿はありませんでした。でも、子どもたちの足跡はちゃんと残っていました。月夜のウサギの足跡と同じように、あちこちへ行ったり来たり、歩いたり、走ったり……。足跡を見ただけで子どもたちがどんな思いで遊んでいたかははいわかりません。

この足跡を見たとき、子どもはいつの時代もみんな同じなんだなあと思いました。じつは、先日、私の仕事場の片付けをしていてわが家の子どもたちが牛舎で遊んでいる写真を見つけました。写真は三十数年前のもので、牛舎の屋根から落ちた雪は三層ほどの高さになっていて、それを利用して長女と長男の二人が仲良くソリ遊びをしています。赤いソリを持って、一番高いところへ急いで駆け上がる長女とそれを追う長男、長女と長男が交替でソリを操作している様子などが写っていました。

そうそう、子どもたちが遊んでいる場所から一〇分ほど離れた道を母が歩いているところも入っていました。水色のアノラックを着て、背中には小さなバッグがちらつと見えます。何かをかついでいるようでした。たぶん、子どもたちのために美味しいものを作って食べさせようとしていたのでしょう。子どもたちがソリ遊びをしていることを母が知っていたかどうかはわかりませんが、子どもたちの遊ぶ声や姿を確認できて、いかにうれしそうでした。

堤防へ上がったとき、特急「はくたか」が鉄橋を渡り、越後湯沢に向かって走っている姿も偶然見ることができました。鉄橋を渡る時の音とともに、車両の明かりが次々と動いて行く様子がとても新鮮で、私も電車に乗って遠くへ出かけたくくなりました。それにしても、直江津駅を出たばかりなのに特急の電車ってずいぶん早いですね。しっかりとカメラを向ける余裕がありませんでした。

ソリ遊びをしていた子どもたちの姿を見れたのはほんのいつときでした。でも、この日、雪の中で遊ぶ子どもたちの姿に出合ったおかげで、とてもいい気分になりました。ことができました。昔も今も、雪国の子どもの姿に出合っています。雪は天からの贈り物です。子どもたちは、どんな時でも、雪の中で楽しく遊んじゃいます。いいですね。

三和区の産廃調査請願、本会議では僅差で不採択

注目の三和区宮崎新田の産業廃棄物の調査を求める請願（「三和の水とみどりを育てる会」提出）は16日の本会議で賛成15、反対16という僅差で不採択になってしまいました。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月10日(水)	12月17日(水)
上越南消防署	0.030	0.043
上越北消防署	0.057	0.057
新井消防署	0.040	0.050
頸北消防署	0.040	0.047
頸南消防署	0.050	0.050
東頸消防署	0.050	0.060
高士分遣所	0.043	0.057
名立分遣所	0.050	0.056

残念ですが、闘いはこれからです。採決に先立つ討論では市民クラブの本城文夫議員が、この問題の一連の流れを事実に基づいて説明しながら、「当市は環境都市宣言をしている自治体であり、放置は許されない。行政の責任において積極的に最大限の努力をしていくことは合併協議でも決まっていることだ」とのべると議場は静まりかえりました。また、日本共産党の平良木哲也議員も、産廃放置を合理化する説明を繰り返してきた市行政を批判、「こう

した姿勢を一刻も早くあらため、地域住民だけでなく、下流域の多くの市民の安全と環境保全を願う請願者の思いに応え、予算上の措置を講じることをはじめとした具体的な取り組みを行政に求めることは、市民の代表としての議会がはたすべき重大な責務だ」と賛成討論をしました。

水とみどりを育てる会の請願とは別に、同所での産廃調査と産廃処理のための積み立てを求めた、「住民自治と合併問題を考える会」提出の請願も賛成12、反対19で不採択となりました。（写真は議会事務局提供）

